

英語を楽しく

☆ 「NO MORE GUN」銃追放運動の新聞広告

数年前に「NO MORE GUN」が日本で問題になりました。銃追放運動がいけないというのではなく新聞広告の英文が間違っていたため、抗議投書が殺到しました。

「真面目な運動を笑いものにするな」というものも多かったそうです。なぜそうなったのでしょうか。それは、MOREの意味は「もっと多い・さらに多く」などの意味があるのに「GUN」が単数では妙な英文になるからでした。

「GUN」だけでは、つまり、無冠詞 + 単数形 = 数えられないものとなり、「GUN」が数えられるものであるのに理解できない文になっています。ですから、抗議が来たのです。

日本人にとっては「NO MORE GUN」と言っても別に気になりませんがネイティブスピーカーにとっては、GUNSがGUNと書かれることは、「こんな奇妙な英文はない」と不愉快に思うのだそうです。

それに似たことがもう一つありました。

NO MORE GUN



へんな感じだなあ...

NO MORE HIROSIMA というのは変

もうおわかりのことでしょうが、「HIROSIMA」は「HIROSIMAS」でなければならぬのです。それは、「NO more」は、～これ以上許さないという意味ですから、当然、これ以上と言うことは物が2つ以上あるということになりますから、

「HIROSIMA」

という文字にSが付くわけです。

HIROSIMA S



I got it!

よく出る例ですが

- ① I want to have a dog. なら「私は犬を飼いたいです。」が、
- ② I want to have dog. なら「私は犬の肉を食べたい。」になるのです。
- ① は a dog = one dog ですから一匹の犬
- ② の dog は冠詞がない (-sもない) ので「数えられないもの」=「物質名詞」ということで、犬の場合、「犬の肉」と言うことになってしまうのです。

そこで、次の英語を日本語にすると・・・

I can eat horse. 私は馬肉を食べることができる。

I can eat a horse. 私は非常におなかがすいている。

(馬でも食べられるくらいおなかがすいているということ)

冠詞は文で大変重要な働きをしているのですね。